関係各位

北海道農政部食の安全推進監

家きん飼養農場における消毒及び自己点検の再徹底について

日頃より家畜衛生の推進に御理解、御協力いただき感謝申し上げます。

今シーズンの高病原性鳥インフルエンザについては、令和3年11月以降に家きん飼養農場で発生して以降、これまでに11県で17事例が確認されています。

一方、道内では、死亡野鳥等において本病ウイルスが陽性となる事例が相次いで確認されており、特に農場に近い存在であるカラスにおける陽性事例が増加しています。

さらに、今後は気温の上昇にあわせて、渡り鳥の北上や、野生動物の活動が一層活発化することを踏まえると、本道における本病の発生リスクは極めて高い状況にあると考えられます。

本道では、これまでも「高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の徹底について」（令和3年9月5日付け畜産第1230号）及び「高病原性鳥インフルエンザの防疫に係る消毒・点検強化キャンペーンの実施について」（令和3年10月27日付け畜産第1468号）等による注意喚起や、「道内における高病原性鳥インフルエンザの発生予防のための緊急消毒の実施（令和4年2月14日付け畜産第2097号）」による発生防止対策の徹底に取り組んでいるところですが、4月以降も本病の発生リスクが高い状態が続くことを踏まえ、改めて自己点検の実施と不備があった場合の改善を徹底するとともに、特に雪解け後の鶏舎周囲への石灰散布と野生動物の侵入防止対策を徹底し、農場のバイオセキュリティの維持と本病の侵入防止に努めるよう、貴会構成員等の関係者に対し、御指導いただきますようお願いいたします。

連絡先

生産振興局畜産振興課家畜衛生係 主査（防疫）

TEL：011-231-4111（内線27-783）

Mail：hayakawa.jun@pref.hokkaido.lg.jp